

【場所・面積】埼玉県飯能市、130ha

【管理目的】

- 地域住民の憩いや交流、環境教育、ハイキング、エコツーリズムの場として活用されている。
- 飯能市景観保全緑地に指定され、生物多様性の維持とモニタリング調査が行われている。

【サイト概要】

- 毎年「緑地管理計画書」を作成し定期的な下草刈り、間伐、マナー看板の設置等を行っている。
- 里山として生物多様性、生態系および健全な山林の維持に努めている。

【サイト周辺の状況】

- 埼玉県飯能市の里山地域に位置する。市街地に隣接する天覧山・多峯主山周辺にある広さ約130ha、標高180m前後の丘陵地でスギ、ヒノキの植林とクヌギ、コナラ群集の自然豊かな山林。

【土地利用の変遷】

- 1960年代から事業用地（開発目的）として土地の購入を開始したが、環境への意識が高まり、市街化調整区域に編入し、2008年から環境保全に取り組むようになった。

【活動のアピールポイント】

- 飯能市景観緑地の指定や都市緑化機構のSEGES（スバラティブステージ）に認定されている。
- 環境省の重要里地里山の「天覧山・多峯主山」に選定、毎月モニ1000調査が行われている。
- 谷津の里再生プロジェクトでは、地元小学生が田植え（無農薬）と稲刈りを行い、里山復活祭として収穫のお米を食べている。
- 冬には間伐体験、落葉掃き、森林学習をカリキュラムとして実施している。
- 夏には（自然の）ホタルが飛来し多くの団体が観賞に来ている。



区域全体図・写真①






区域全体図・写真②



【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要(1/2)】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
(1)		<p>○環境省の重要里地里山「天覧山・多峯主山」に選定されている。</p> <p>■選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷津田や草地等からなるモザイク状の土地利用が維持されている。 ・カヤネズミ、ヤマザクラなど里地里山に特徴的な植物が生息・育成している。 ・水辺環境と水田・湿地環境が保全・再生されている。 <p>○飯能市環境保全条例に基づき景観緑地として保全している。</p> <p>■選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観緑地とは、市民に愛され、親しまれている景観が優れた緑地で市長が指定したもの。(条例より) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な巡回を行い、グループ会社（造園業）や自社樹木医による樹木の健康診断を行い、健康木と枯損木に分類し伐採を行っている。 ・はんのう市民環境会議による定期的な巡回および マナー看板の設置。(自生在来種持出禁止、外来種持込禁止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯能市では、自然環境調査報告書を10年に一度制作。(A 4版140ページ)制作は外部委託。 ・モニタリングサイト1000里地調査(月1回、報告年1回)
(3)	 <p>【キンラン】</p>	<p>○里山林や水田、草地等から成るモザイク的な環境が形成されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山林の主な植生は、スギ・ヒノキの植林とクヌギ・コナラ群集である。 ・以下のとおり、それぞれの生息地に特徴的な種の生息が確認されている。(全て生体) ・里山林：ヤマザクラ ・水田：ニホンアカガエル、ヤマアカガエル ・草地：キンラン、ギンラン <p>・谷津田や草地等からなるモザイク状の土地利用が維持されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カヤネズミ、ヤマザクラなど里地里山に特徴的な植物が生息・育成している。 ・水辺環境と水田・湿地環境が保全・再生されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山林においては、年に1回間伐を行い、下草が繁茂する環境の維持を図っている。 ※飯能市平地林再生事業の活用で、2019年に130本伐採。 ・水田では、無農薬栽培を実施し、水生生物の生息に適した環境を維持している。(堆肥は落葉掃きによる循環型) ・沿道の下草は安全の観点から夏に1回目、希少種が咲き終わった後の秋に2回目を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯能市では、自然環境調査報告書を10年に一度制作。(A 4版140ページ)制作は外部委託。 ・モニタリングサイト1000里地調査(月1回、報告年1回)

【生物多様性の価値、管理内容およびモニタリングの概要(2/2)】

生物多様性の価値		生物多様性の価値の概況	管理内容	モニタリング概要
(4)	 <p>【モリアオガエル】</p>	<p>【健全性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在来種を中心に植物の重要種61種、哺乳類10種、鳥類37種、両生類7種、爬虫類6種、水生生物58種、昆虫類59種が確認されている。 <p>【生態系サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯能市景観緑地に指定されている ・環境学習やウォーキングイベントの場として活用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な巡回を行い、グループ会社（造園業）や自社樹木医による樹木の健康診断を行い、健康木と枯損木に分類し伐採を行っている。 ・はんのう市民環境会議による定期的な巡回およびマナー看板の設置。（自生在来種持出禁止、外来種持込禁止） ・生物多様性の維持のための共同作業を月1回定例で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯能市では、自然環境調査報告書を10年に一度制作。（A4版140ページ）制作は外部委託。 ・モニタリングサイト1000里地調査（月1回、報告年1回）
(6)	 <p>【トウキョウサンショウウオ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・谷津の里再生地周辺（田んぼ、湿地帯）で、2020年3月に実施した産卵場所調査において、環境省RL2020において絶滅危惧Ⅰ類に選定されているトウキョウサンショウウオ（学名：Hynobius tokyoensis）の卵が確認されている。 	<p>トウキョウサンショウウオの生息に適した水辺環境を維持するために、小川の小橋を整備し産卵地に水が流れるようにした。</p>	<p>周辺は月1回実施しているが、湿地であり落ち葉により確認が困難になっている。</p>
(8)	 <p>【モリアオガエルの卵】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モリアオガエルの卵やカヤネズミの営巣は毎年確認できている。 ・渡り鳥では冬場（1～3月期）にジョウビタキが飛来する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葦が繁茂し夏場に刈りたいが、カヤネズミの巣が毎年確認されているため、巣の周囲は刈らないようにしている。 ・モリアオガエル、ヤマアカガエルについては、田んぼのため池の水温が上昇しないように樹木を伐採せず、日かげをつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飯能市では、自然環境調査報告書を10年に一度制作。（A4版140ページ）制作は外部委託。 ・モニタリングサイト1000里地調査（月1回、報告年1回）